

東洋大学ライフデザイン学部規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、東洋大学学則（以下「学則」という。）に基づき、ライフデザイン学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第 2 条 ライフデザイン学部は、学則第 4 条の 2 に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第 1 のとおり定める。

(学位授与、教育課程編成・実施及び入学者の受入の方針)

第 3 条 ライフデザイン学部は、学則第 4 条の 3 に基づき、学部及び各学科又は専攻の学位授与に関する方針、教育課程編成・実施に関する方針及び入学者の受入に関する方針を、別表第 2 のとおり定める。

(教育課程)

第 4 条 ライフデザイン学部は、学則第 39 条第 1 項第 1 号から第 5 号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第 3 のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第 5 条 ライフデザイン学部は、学則第 52 条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第 4 のとおり定める。

2 人間環境デザイン学科は、4 年次の卒業関係科目の履修するための条件を、別表第 5 のとおり定める。

(履修上限単位数)

第 6 条 ライフデザイン学部は、学則第 42 条第 3 項に基づき、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を、24 単位とする。

2 前項に関わらず、生活支援学科生活支援学専攻介護福祉士コース所属学生は、学位授与に関する方針に照らし、1 年次秋学期以降、これに 4 単位を追加することができる。

(教育職員その他資格)

第 7 条 学則第 45 条に基づき、ライフデザイン学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 社会福祉士試験の受験資格
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格
- (4) 介護福祉士試験の受験資格
- (5) 保育士となる資格
- (6) 社会福祉主事となる資格

2 前項第 1 号の資格において、ライフデザイン学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等	免許状の種類及び教科
生活支援学科生活支援学専攻	高等学校教諭 1 種免許状 (福祉)
生活支援学科子ども支援学専攻	幼稚園教諭 1 種免許状
健康スポーツ学科	中学校教諭 1 種免許状 (保健)
	中学校教諭 1 種免許状 (保健体育)
	高等学校教諭 1 種免許状 (保健)
	高等学校教諭 1 種免許状 (保健体育)
	養護教諭 1 種免許状
人間環境デザイン学科	高等学校教諭 1 種免許状 (工業)
	高等学校教諭 1 種免許状 (工芸)

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第 8 条 ライフデザイン学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第 6 に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 社会福祉士試験の受験資格 別表第 7 に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 精神保健福祉士試験の受験資格 別表第 8 に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 介護福祉士試験の受験資格 別表第 9 に掲げる授業科目の単位を修得
- (5) 保育士となる資格 別表第 10 に掲げる授業科目の単位を修得
- (6) 社会福祉主事となる資格 別表第 11 に掲げる授業科目の単位を修得

(改正)

第 9 条 この規程の改正は、学長がライフデザイン学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成 27 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表第1 教育研究上の目的

ライフデザイン学部

1.人材の養成に関する目的
(1) 人間の生活を総合的に捉え、幅広い人間価値の受容と個人や社会のニーズに的確に応えられる人材 (2) 専門分野のみならず、多方面にわたる分野の関係性とその必要性を理解できる人材 (3) 専門的な職業観に基づく柔軟かつ的確な実践対応能力を発揮できる人材 (4) 新たなライフスタイルの創造を志向できる人材 (5) 国際的視点で判断し、表現し、コミュニケーションできる人材
2.学生に修得させるべき能力等の教育目標
(1) 問題探求能力と課題の抽出及び提案能力 (2) 課題解決のための目標と解決までの作業プロセスを的確に企画し開示できる能力 (3) 他者とのコミュニケーションの必要性を理解し実行できる能力 (4) 参加者の規模にかかわらず、異なる思考をもつ多様な人々との対話を重視できる能力 (5) 失敗を恐れず継続的改善を目指して自己を検証できる能力 (6) 母国語以外の国際的言語によるコミュニケーション能力
3.その他の教育研究上の目的
学生、教職員が一体となり、共に物事を探求し、具体的に表現できる教育研究体制の確立

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻

1.人材の養成に関する目的
生活支援学専攻では、社会福祉学を基礎とし、介護福祉、精神保健福祉、医療福祉などの関係分野に関する専門的知識や実践的技術を培い、高い見識をもって、相談やケアを必要とする人々の支援に携わり、国際的な動向にも強い関心を払い、やがてはそれぞれの分野において指導的立場を担える人材を養成することを目指している。
2.学生に修得させるべき能力等の教育目標
生活支援学専攻では、ライフデザイン学という新しい学問体系の中で、さまざまな人々のそれぞれのライフステージにおいて見出される生活支援に関する課題の解決に向け、課題を個人、家庭、行政など異なる水準において系統的、論理的に整理し、自ら考え、対処の方向を見出し、関係者と連携して、行動することができる能力を培うことを教育上の目標とする。
3.その他の教育研究上の目的
ライフデザイン学部の他の2学科の教育とも相俟って、自らの専門領域にとどまらず、現代社会の諸事象を深く理解し、信念と社会の一員としての自覚をもって行動できる人材を養成する。

ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

1.人材の養成に関する目的
子ども支援学専攻では、社会福祉等を基礎とする社会に対する広い視野を持って、子どもに関わる興味関心を深め、「保育」、「乳幼児教育」と「児童福祉」の充実と発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。専門職の資格としては、保育士資格、幼稚園教諭1種免許状を得ることができる。希望者は、社会福祉士国家試験受験資格も得ることができる。
2.学生に修得させるべき能力等の教育目標
子ども支援学専攻では、社会福祉、児童福祉、保育、乳幼児教育などの分野に関する高い専門的知識を学び、子どもを支援するために必要な具体的な技術の修得と関連づけていくことのできる能力を養うことを目標とする。そして、さまざまな分野において課題に直面した際に、自らで考えてそれらの課題を解決していける能力を培うことを教育の目標とする。
3.その他の教育研究上の目的
子ども支援学専攻で養成する人材は、その専門性から、子どものみならず、子育てをしている保護者を支援する力量も必要とされている。そのためには、さらに、社会的に広い知識と、人間への尊敬を基本とする深い思慮が必要であり、それらの育成も目的とする。

1.人材の養成に関する目的

少子・高齢化社会および福祉社会といわれる今日にあつては、人々の健康や身体に関する教育に加え、福祉に関する幅広い教育を行うことをとおし、健康の維持・増進の支援ができる人材を育成することが必要である。このような認識に基づき、健康スポーツ学科では、現代人の生活の質(Quality of Life)の向上を目指し、身体活動やスポーツの機能的および社会・文化的側面に関する教育や研究の実践を理念として、それらの研究や教育をとおし、小児から高齢者、障害者の健康の維持・増進の支援に寄与できる人材の養成をめざしている。

2.学生に修得させるべき能力等の教育目標

学生に対し、以下に掲げる能力や素養を修得させることを目標とする。

- (1) 理論と実践を有機的に連動させ健康スポーツに関わる知見を総合的かつ系統的に教授することにより、子どもから高齢者さらには障害者の身体活動能力の確保や健康の維持増進を実現する能力やそれに関わる理論を修得することを目標とする。
- (2) さらに、健康に関わる幅広い理論的根拠に基づく実践的能力とともに、各種施設や地域社会において、健康づくりをマネージメント、プロモートする管理能力の修得を目指す。

1.人材の養成に関する目的

ユニバーサルデザインの考え方を根底に、建築、まちづくりからプロダクトデザイン、生活支援機器デザインに至る幅広い分野の知識を持ったデザイナーと、住空間デザインの企画、運営にかかわり、また、その支援者或は理解者として社会的役割を担うことの出来る人材の育成

2.学生に修得させるべき能力等の教育目標

1～2年生(共通カリキュラム)

デザインに関する幅広い知識を修得する

スケッチ・モックアップ・模型・CAD・CG等を通して、デザイン及びそのプレゼンテーションに関わる基本技術を修得するに關わる基本的な技術の修得

3～4年生(コース別カリキュラム)

3～4年次はコース別カリキュラムに分かれて、それぞれの分野の専門知識・技術を修得する

3.その他の教育研究上の目的

デザインに関わるあらゆる可能性の検討

インターンシップを活用したより実践的実務的教育の実践

ユニバーサルデザインの考え方を背景として、地域・関連分野の諸施設・他大学等との共同研究を積極的に進めると共に、建築・まちづくり・生活支援機器・住宅改善・プロダクト・インタラクション等に関する教育研究を通しての社会貢献

別表第2 学位授与、教育課程編成・実施、入学者の受入に関する方針

ライフデザイン学部

1.学位授与に関する方針

学部の教育課程に定められた科目を履修し、本規程に定める卒業要件を満たした、以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し、学位を授与します。

- (1) 人権を尊重する倫理観を身につけ、社会貢献を行う高い意欲を有する人材。
- (2) 系統的な知識と実践力を備えた専門家となりうる人材。
- (3) 社会的支援が必要な人を含むすべての人びとの豊かな生活を支援できる人材。
- (4) 分析力、発想力、創造力、コミュニケーション力、そして実践力を磨き、社会で求められる指導力を身につけ、社会のさまざまな分野でイノベーションの起点となる人材。

2.教育課程編成・実施に関する方針

「教育目標」、「ディプロマ・ポリシー」を踏まえて、専門的な知識及び技術をもって教育を行います。また、正課内および正課外授業によって、学士および社会人として身につけるべき能力を培います。

1. 教育課程編成の体系化

- (1) 学部共通の必修科目を設定して、学部の教育内容を明解にする。
- (2) 基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。
- (3) 幅広い知識の修得を踏まえ、各学科・専攻における特色を生かした専門分野やコースを設定する。
- (4) 実社会への適応力を養うため、諸資格取得に対応した教育課程の編成および実践的な科目を配置する。
- (5) 実践的力量形成が求められる分野・領域については演習科目を、技術修得が必要な分野・領域については実習・実技科目を、適宜配置する。
- (6) キャリア形成を支援するため、社会人基礎科目を配置する。
- (7) グローバルに活躍できる人材を育成するために、留学支援科目と海外実習科目を配置する。

2. 教育方法、教育充実の取り組み

- (1) 学部・学科の専門領域の学修を教員と学生とが一体となって行ない、その成果を積極的に社会に還元する。
- (2) アクティブラーニング等の参加・問題解決型授業を展開して、学生の自立性や創造性を培う教育を実践する。
- (3) 学科・専攻の専門領域の学修とともに、他学科・専攻への理解を持ち、広い視野と高い見識を有することができる教育を行う。
- (4) 実習・実技を踏まえた、資格養成等の実践的な教育を行う。
- (5) 実社会への適応力を養うため、インターンシップ等の社会と直結した教育方法を積極的に取り入れる。

3.入学者の受入に関する方針

「人材の養成に関する目的」、「教育目標」を踏まえて、専門性を修得する意欲、資質など、求める人材像等本学部の学生受け入れの基本方針を明示します。

- (1) 現代人にとっての価値あるライフ(生命、生活、人生)を探求するために、生活・健康・環境に軸足を据えて理論と実践をバランスよく学び、人間の豊かな生活の創造を目指す学生。
- (2) 専門的であり、実践的な教育を求める学生。
- (3) 人びとの暮らしをより豊かにするための基本的な考え方や技術を学び、社会に貢献したいという目標を持った学生。

1.学位授与に関する方針

生活支援学専攻では、従来の学際的な人材養成を踏まえ、社会福祉士として社会貢献できるに足る系統的な知識と技能を習得することを基盤とし、学生の進路に応じ介護福祉、精神保健福祉、あるいは医療福祉のいずれかに関して、専門職として社会貢献できるに足る水準の知識と技能を習得することをもって学位を授与する。

2.教育課程編成・実施に関する方針

生活支援学専攻では、従来の一般教養科目に加え、社会福祉士の養成校として開講すべき科目を順次性に配慮して系統的に配置するとともに、介護福祉士並びに精神保健福祉士の養成校として必要とされる科目、さらには医療福祉の専門的知識を習得する科目についても順次性に配慮して系統的に配置し、社会福祉士関連科目とこれらのいずれかの科目を並行して習得できるように教育課程を編成する。入学後は、生活支援学演習を必修とし、特に1年次においては、文章による表現能力や対人場面におけるコミュニケーション能力を高めることに力を入れるほか、学内外で幅広い福祉現場で働く人々との交流の機会を設けるよう努めている。また、諸資格取得に際しては、必須とされる学外実習に加え、より幅広く、かつ深く福祉のさまざまな現場を経験できるようインターンシップなどを活用できる科目を開講する。さらに、企業や行政における貢献を希望する学生には語学教育を重視した総合的な人材育成が可能となるような科目を開講する。

3.入学者の受入に関する方針

生活支援学専攻では、社会福祉の専門性を習得し、社会福祉士となることに加え、介護福祉、精神保健福祉や医療福祉など、幅広い分野での社会貢献を目指す学生を養成することを目標としている。必要とされる支援についての基本的考え方を学び、習得した知識や技術をさまざまな福祉の現場で実践的に生かそうという強い意欲を持った学生を受け入れることを方針としている。そのための基礎学力として、入学試験では、国語・英語・社会を重視し、学力試験の基本科目としている。また、学力と同時に、福祉分野に強い関心を抱き、誠実に職務を担うことができる人材を求めていることから、面接や小論文でそうした能力や適性を評価する自己推薦や学校推薦による選抜も実施している。学生の受け入れ方針を定めるに際しては、高等学校との情報交換を密にし、学生のニーズを的確に把握することに努めている。

1.学位授与に関する方針

下記の能力を備えた学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

1. 子どもの福祉や教育に関わる専門的知識を身につけていること。
2. 子どもの成長発達や保育・教育の問題に対処できる幅広い視野を持ち、それらを明らかにする科学的探究心や問題解決能力を身につけていること。
3. 子どもの福祉や教育に関わるさまざまな実践の場で、人権を尊重し、倫理に基づき、人々の多様な育ちを支えていこうとする意志と意欲を持っていること。
4. 子どもの育ちや子育ての状況を理解し、人々が自らの幸福を追求できるよう、根拠に基づいて適切な援助を行うことができること。

2.教育課程編成・実施に関する方針

1. 基礎的な学力と豊かな教養を身につけるための基盤教育科目を配置する。
2. さまざまな子どもや保護者を支援する力を備えるための専門科目を配置する。保育士・幼稚園教諭の資格取得に必要な専門科目を必修・選択として設定し、学びの系統性に配慮しながら順次履修できるよう配置する。
3. 諸資格取得のための学外実習は、実習毎に事前・事後指導を徹底し、専門科目との関連に配慮して教育課程を編成する。
4. 子ども支援学専攻に関連する今日的課題を主体的に見出し、問題解決能力の育成を図るために一年次から四年次のゼミナール配置を行う。
5. 保育士資格・幼稚園教諭1種免許取得のみならず、社会福祉士受験資格取得が可能なカリキュラムを編成し、高度なソーシャルワーク技能を併せ持つ人材育成をはかる。
6. グローバルに活躍できる人材を育成するために、海外研修に関する科目を設定する。

3.入学者の受入に関する方針

以下のような点を入学者の条件として求めます。

1. 子どもの成長発達や保育・教育の問題に深い関心を持ち、それを学ぼうとする知的的好奇心と強い意志があること
2. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有していること。
3. 対人援助専門職者は援助の過程で他者との連携が求められる。よって、積極的に他者とかかわり、対話を成立させ、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有していること。

1.学位授与に関する方針

学科の教育課程に定められた科目を履修し、本学学則に定める卒業要件を満たした以下の能力を備えた学生に対して、卒業を認定し、学位を授与します。

1. 健康や身体活動、スポーツに関する正しい知識のうえに思考判断できる。
2. 健康づくりの専門家として指導力、実践力を有し社会貢献できる。
3. 全てのライフステージや生活状況にある人々を理解して健康づくりを支援する意欲がある。

2.教育課程編成・実施に関する方針

健康スポーツ学科では身体活動やスポーツを通じた人々の健康づくりに貢献できる人材を育成するために以下のカリキュラムポリシーに従い教育内容を構成しています。

1. 身体活動やスポーツを通じた健康づくりの専門家として必要な科目を必修として設定する。
2. 指導力、実践力を養成するために講義と演習または実習を組み合わせ設定する。
3. 社会貢献の基盤づくりのため、ボランティア、フィールドワーク、インターンシップなどアクティブラーニング科目を設定する。
4. 全てのライフステージや生活状況にある人々の健康づくりを実践できるよう、コース制を取り入れ対象者別の幅の広い専門科目を設定する。
5. グローバルに活躍する発想を持つ人材を育成するため、海外研修に関する科目を設定する。

3.入学者の受入に関する方針

健康スポーツ学科では健康づくりに貢献できる人材を育成するために以下のようなことを入学者の条件として求めます。

1. 身体活動やスポーツを通じた健康づくりを世の中に広めていく意欲をもっている。
2. 人に対する関心を持ちコミュニケーション能力をそなえている。
3. 全てのライフステージや生活状況にある人々に対する関心や理解をもっている。
4. 健康スポーツ学を学ぶための十分な基礎的学力を有する。

1.学位授与に関する方針

人間環境デザイン学科では、まちづくりからプロダクトデザインまでの分野を対象に、市場社会から福祉社会までを視野に入れ、第一線で活躍すべきデザイナーあるいはデザインという世界の広がりや可能性に対して深い理解と造詣を持ち、デザインと社会とを繋ぐ役割を担うべき社会人を育成し、この方針に基づく学修者に学位を授与する。

2.教育課程編成・実施に関する方針

4年8セメスタを半分に分け、前半の4セメスタはデザインに関する幅広い知識と基本的な技術を学ぶ期間です。演習では平面・立体・空間・人間の四つの切口から基礎的な技術を、講義では多様な授業を通してデザインに関する幅広い知識を身につける。後半の4セメスタでは、より専門的な知識と実践的な技術を学ぶために、それぞれの希望を背景に、建築やまちづくりを中心に学ぶコース、福祉機器や住宅改善を中心に学ぶコース、プロダクトやインターフェイスを中心に学ぶコースの3コースの中から1コースを選択し、それぞれの分野に特化した授業と演習に取り組む。6セメスタ以降は研究室配属を行い、8セメスタでは4年間の成果をまとめるために、自ら選択したテーマの下で卒業研究に取り組み、作品あるいは論文を提出することになる。

3.入学者の受入に関する方針

人間環境デザイン学科は、文字通り、人間とそれを取り巻く環境をデザインという視点から考える学科である。一方、多くの高校生は、この分野を受験分野として真剣に考えたり、自らの職業として具体的にイメージした経験はほとんど無いと思われる。自らのデザイン能力を客観化したりする機会もほとんど無かったはずである。私たちは、大多数の高校生が自らの能力のみならずデザインとそれに関わる世界の広がりや知らずに受験期を迎えていると考えている。デザインに関わる分野は大変幅広く多様な人材がいろいろな形で参加している世界であり、人間環境デザイン学科ではあらゆる機会を通じて、皆さんにデザインに関わる多様な世界があること、一定の学力とその意志さえあれば、誰でもデザインの世界の中で活動できるということを伝え、可能な限り多様な入試方法を通して、できるだけ幅広く、可能性のある人材を集めたいと考えている。

別表第3 教育課程

(1)ライフデザイン学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択	哲学	1～4	2	
哲学・思想	選択	美術一般	1～4	2	
哲学・思想	選択	音楽一般	1～4	2	
哲学・思想	選択	井上円了と東洋大学A	1～4	2	
哲学・思想	選択	井上円了と東洋大学B	1～4	2	
哲学・思想	選択	人間と宗教	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	生活と環境	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	生命と倫理	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	生活と栄養	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	生死の社会学	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	ジェンダー論	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	世代論	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	物理	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	数学	1～4	2	
自然・環境・生命	選択	危機管理と救急法	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	児童文学	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	文章読解	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	国語表現法	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	口頭表現法	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	レポート・論文のまとめ方	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	プレゼンテーション技法	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	文化論	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	文化人類学	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	英米の文化とことば	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	ドイツの文化とことば	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	フランスの文化とことば	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	中国の文化とことば	1～4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	韓国の文化とことば	1～4	2	
現代・社会	選択	社会学	1～4	2	
現代・社会	選択	心理学	1～4	2	
現代・社会	選択	法学	1～4	2	
現代・社会	選択	日本国憲法	1～4	2	
現代・社会	選択	経済学	1～4	2	
現代・社会	選択	経営学	1～4	2	
現代・社会	選択	基礎会計学	1～4	2	
現代・社会	選択	学校と地域(学校安全を含む)	1～4	2	
現代・社会	選択	生活と住居	1～4	2	
現代・社会	選択	まちづくり	1～4	2	
現代・社会	選択	地域研究法	1～4	2	
現代・社会	選択	人権と生活	1～4	2	
現代・社会	選択	家族の社会学	1～4	2	
現代・社会	選択	生活と家族	1～4	2	
総合	選択	総合Ⅰ	1～4	2	
総合	選択	総合Ⅱ	1～4	2	
総合	選択	総合Ⅲ	1～4	2	
総合	選択	総合ⅣA	1～4	2	
総合	選択	総合ⅣB	1～4	2	
総合	選択	全学総合ⅠA	1～4	2	
総合	選択	全学総合ⅠB	1～4	2	
総合	選択	全学総合ⅡA	1～4	2	
総合	選択	全学総合ⅡB	1～4	2	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅠA	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅠB	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅠC	1	1	健康スポーツ学科、人間環境デザイン学科のみ
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅠD	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅡA	2	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅡB	2	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅡC	2	1	健康スポーツ学科のみ
文化間コミュニケーション	必修	英語ⅡD	2	1	
文化間コミュニケーション	選択	英語ⅢA	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	英語ⅢB	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	ドイツ語Ⅰ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	ドイツ語Ⅱ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	フランス語Ⅰ	1～4	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
文化間コミュニケーション	選択	フランス語Ⅱ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	中国語Ⅰ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	中国語Ⅱ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	韓国語Ⅰ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	韓国語Ⅱ	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	TOEICⅠA	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	TOEICⅠB	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	TOEICⅡA	1～4	1	
文化間コミュニケーション	選択	TOEICⅡB	1～4	1	
文化間コミュニケーション(日本語)	必修	日本語Ⅰ	1～4	1	
文化間コミュニケーション(日本語)	必修	日本語Ⅱ	1～4	1	外国人留学生のみ履修可
文化間コミュニケーション(日本語)	必修	日本事情Ⅰ	1～4	2	
文化間コミュニケーション(日本語)	必修	日本事情Ⅱ	1～4	2	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
社会人基礎科目	選択	社会人基礎力入門講義	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	企業家論	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	公務員論	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	キャリアデベロップメント論	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	企業のしくみ	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	社会貢献活動入門	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	テクニカルライティング	1～4	2	
社会人基礎科目	選択	アカデミックライティング	1～4	2	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	English for Academic Purposes A Listening/Speaking	1～4	2	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	English for Academic Purposes B Reading/Writing	1～4	2	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	Business English Communication	1～4	2	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1	
留学支援科目(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅠ	1～4	4	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅡ	1～4	4	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅢ	1～4	4	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅣ	1～4	4	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅠ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅡ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅢ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅣ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅠ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅡ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅢ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅣ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅠ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅡ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅢ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅣ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Project WorkⅠ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Project WorkⅡ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Project WorkⅢ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Project WorkⅣ	1～4	1	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Culture and Society A	1～4	2	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Japanese Culture and Society B	1～4	2	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Introduction to Japanology A	1～4	2	
留学支援科目(日本語科目)	選択	Introduction to Japanology B	1～4	2	
国際人の形成	選択	国際キャリア概論	1～4	2	
国際人の形成	選択	留学のすすめ	1～4	2	
国際人の形成	選択	海外研修Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成	選択	海外研修Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成	選択	海外実習Ⅰ	1～4	2	
国際人の形成	選択	海外実習Ⅱ	1～4	2	
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅰ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅳ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅰ	1～4	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅱ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅲ	1～4	1	
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅳ	1～4	1	

(2)-1 ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉の基礎	1	2	
学科専門科目	必修	専門職論	1	2	
学科専門科目	必修	実習の基礎	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅠA	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅠB	1	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅢA	3	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅢB	3	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅣA	4	2	
学科専門科目	必修	生活支援学演習ⅣB	4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉学原論Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	児童福祉論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	医学一般	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門科目	選択	精神保健Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	精神保健Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術総論	1	2	
学科専門科目	選択	子どもの権利論	1～4	2	
学科専門科目	選択	子どもと文学	1～4	2	
学科専門科目	選択	児童福祉論Ⅱ	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1～4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学演習ⅡA	2	2	
学科専門科目	選択	生活支援学演習ⅡB	2	2	
学科専門科目	選択	社会調査の基礎	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅲ	2	2	
学科専門科目	選択	介護福祉援助技術の基礎	2	2	
学科専門科目	選択	福祉レクリエーション	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	精神医学Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神医学Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉論Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	医療福祉総論	2	2	
学科専門科目	選択	高齢者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	障害者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉運営論	2～3	2	
学科専門科目	選択	権利擁護論	2～3	2	
学科専門科目	選択	低所得者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	更生保護論	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉論Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉論Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	福祉サービス運営論	2～3	2	
学科専門科目	選択	就労支援論	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障論Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障論Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅳ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅲ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習	3	4	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	精神保健福祉論Ⅲ	3	2	
学科専門科目	選択	精神科リハビリテーション学Ⅰ	3	2	
学科専門科目	選択	精神科リハビリテーション学Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術実習	3	4	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	医療ソーシャルワーク論	3	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅰ	3	2	
学科専門科目	選択	医療福祉演習Ⅱ	3	2	
学科専門科目	選択	生活支援学特別講義A	3～4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学特別講義B	3～4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅴ	4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学専門実習A	4	2	
学科専門科目	選択	生活支援学専門実習B	4	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉専門実習A	4	2	
学科専門科目	選択	精神保健福祉専門実習B	4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉専門実習A	4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉専門実習B	4	2	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅱ	1	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅲ	2	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅳ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅴ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉援助概論Ⅵ	4	2	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅱ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅳ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅴ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅵ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅶ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅷ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅸ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	生活支援技術Ⅹ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護コミュニケーション技術Ⅱ	2	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅲ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護過程Ⅳ	4	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅰ	1	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅱ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅲ	2	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護総合演習Ⅳ	3	1	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅰ	1	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅱ	2	3	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅲ	3	3	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉実習Ⅳ	4	2	
介護福祉士コース科目	選択	発達と老化の理解	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	障害の理解	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	認知症の理解Ⅰ	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	認知症の理解Ⅱ	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅠ	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅡ	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	こころとからだのしくみⅢ	1～4	2	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅠ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅡ	3	2	
介護福祉士コース科目	選択	医療的ケアⅢ	4	2	
介護福祉士コース科目	選択	介護福祉専門実習	4	2	

(2)-2 ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	社会福祉の基礎	1	2	
学科専門科目	必修	実習の基礎	1	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅠA	1	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅠB	1	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅢA	3	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習ⅢB	3	2	
学科専門科目	必修	子ども支援学演習Ⅳ	4	2	
学科専門科目	必修	保育実践演習	4	2	
学科専門科目	選択	保育原理Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	児童福祉論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	教職概論	1	2	
学科専門科目	選択	社会的養護	1～2	2	
学科専門科目	選択	家庭支援論	1～2	2	
学科専門科目	選択	教育法規	1～4	2	
学科専門科目	選択	幼児教育基礎論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	幼児教育基礎論Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	保育表現技術(造形)	1	1	
学科専門科目	選択	保育表現技術Ⅰ(音楽)	1	1	
学科専門科目	選択	保育表現技術Ⅰ(体育)	1	1	
学科専門科目	選択	社会福祉学原論Ⅱ	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	医学一般	1	2	
学科専門科目	選択	社会福祉発達史	1	2	
学科専門科目	選択	専門職論	1	2	
学科専門科目	選択	子どもの権利論	1～4	2	
学科専門科目	選択	子育て支援実践	1～4	2	
学科専門科目	選択	児童福祉論Ⅱ	1～4	2	
学科専門科目	選択	子どもと文学	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1～4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	子どもの保健Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	子どもの保健Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	子どもの保健Ⅲ	2	1	
学科専門科目	選択	子どもの食と栄養(実習含む)	2	2	
学科専門科目	選択	社会的養護内容	2	1	
学科専門科目	選択	乳児保育Ⅰ	2	1	
学科専門科目	選択	乳児保育Ⅱ	2	1	
学科専門科目	選択	保育実習ⅠA(施設)	2	2	
学科専門科目	選択	保育実習指導ⅠA(施設)	2	1	
学科専門科目	選択	幼児教育論Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	幼児教育論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	発達心理学	2	2	
学科専門科目	選択	教育心理学	2	1	
学科専門科目	選択	保育表現技術(言語)	2	1	
学科専門科目	選択	保育表現技術Ⅱ(音楽)	2	1	
学科専門科目	選択	保育表現技術Ⅱ(体育)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(ことば)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(環境)	2	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(人間関係)	2	1	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅲ	2	2	
学科専門科目	選択	社会調査の基礎	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	介護福祉援助技術の基礎	2	2	
学科専門科目	選択	福祉レクリエーション	2	2	
学科専門科目	選択	医療福祉総論	2	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	選択	高齢者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	障害者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉運営論	2～3	2	
学科専門科目	選択	権利擁護論	2～3	2	
学科専門科目	選択	低所得者福祉論	2～3	2	
学科専門科目	選択	更生保護論	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉論Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	地域福祉論Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	福祉サービス運営論	2～3	2	
学科専門科目	選択	就労支援論	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障論Ⅰ	2～3	2	
学科専門科目	選択	社会保障論Ⅱ	2～3	2	
学科専門科目	選択	障害児保育Ⅰ	3	1	
学科専門科目	選択	障害児保育Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	保育実習ⅠB(保育所)	3	2	
学科専門科目	選択	保育実習指導ⅠB(保育所)	3	1	
学科専門科目	選択	幼児理解と保育カウンセリング	3	2	
学科専門科目	選択	幼児教育方法(情報機器の活用を含む)	3	2	
学科専門科目	選択	保育内容演習(健康)	3	1	
学科専門科目	選択	保育指導法	3	2	
学科専門科目	選択	保育教育課程論	3	2	
学科専門科目	選択	保育内容総論	3	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(音楽表現)	3	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(造形表現)	3	1	
学科専門科目	選択	保育内容演習(身体表現)	3	1	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術論Ⅳ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅲ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3	1	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3	1	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術現場実習	3	4	
学科専門科目	選択	保育原理Ⅱ	4	2	
学科専門科目	選択	乳児の生活とあそび	4	2	
学科専門科目	選択	保育相談支援	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習指導Ⅱ(保育所)	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習指導Ⅲ(施設)	4	1	
学科専門科目	選択	保育実習Ⅱ(保育所)	4	2	
学科専門科目	選択	保育実習Ⅲ(施設)	4	2	
学科専門科目	選択	教育実習Ⅲ(事前・事後の指導を含む)	4	5	
学科専門科目	選択	教職実践演習(幼稚園)	4	2	
学科専門科目	選択	音楽あそびの実践	4	2	
学科専門科目	選択	体育あそびの実践	4	2	
学科専門科目	選択	造形あそびの実践	4	2	
学科専門科目	選択	社会福祉援助技術演習Ⅴ	4	2	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	

(2)-3 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学基礎演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学概論	1	2	
学科専門科目	必修	健康科学概論	1	2	
学科専門科目	必修	解剖学Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	解剖学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	生理・生化学Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	生理・生化学Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	公衆衛生学Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	エアロビクス実習A	1	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学基礎演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	必修	運動生理学Ⅰ	2	2	
学科専門科目	必修	運動生理学Ⅱ	2	2	
学科専門科目	必修	コーチング概論	2	2	
学科専門科目	必修	レクリエーション実習	2	1	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅠA	3	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅠB	3	2	
学科専門科目	必修	生涯スポーツ論	3	2	
学科専門科目	必修	健康社会と福祉	3	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	健康スポーツ学演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	選択必修A	健康心理学	1	2	
学科専門科目	選択必修A	健康教育学	1	2	
学科専門科目	選択必修A	健康社会学	1	2	
学科専門科目	選択必修A	解剖学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	生理・生化学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	運動生理学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	公衆衛生学実習	2	1	
学科専門科目	選択必修A	フィールドワーク実習	2	1	
学科専門科目	選択必修B	フィットネス実習	1～3	1	
学科専門科目	選択必修B	レクリエーションナルスポーツ実習	1～3	1	
学科専門科目	選択必修B	ゴルフ実習	1～3	1	
学科専門科目	選択必修B	エスニックスポーツ実習	1～3	1	
学科専門科目	選択必修B	スノースポーツ実習	1～3	1	
学科専門科目	選択必修B	野外活動実習	1～3	1	
学科専門科目	選択	機能解剖学Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	機能解剖学Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ医学	2	2	
学科専門科目	選択	トレーニング実習	2	1	
学科専門科目	選択	応用解剖学	3～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツと栄養	3～4	2	
学科専門科目	選択	運動処方(含運動負荷試験)	3～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ心理学	3～4	2	
学科専門科目	選択	トレーニングプログラミング演習	3～4	2	
学科専門科目	選択	バイオメカニクス演習	3～4	1	
学科専門科目	選択	スポーツ社会学	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ人類学	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ史Ⅰ	2	2	
学科専門科目	選択	スポーツ史Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	東洋の健康文化	2	2	
学科専門科目	選択	西洋の健康文化	3～4	2	
学科専門科目	選択	ヨーロッパのスポーツ文化	3～4	2	
学科専門科目	選択	健康政策と行政	3～4	2	
学科専門科目	選択	地域スポーツクラブ論	3～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ政策論	3～4	2	
学科専門科目	選択	身体文化論	3～4	2	
学科専門科目	選択	アジアのスポーツ文化	3～4	2	
学科専門科目	選択	発育・発達・加齢論	2	2	
学科専門科目	選択	レクリエーション論	2	2	
学科専門科目	選択	小児保健(含学校保健)	2	2	
学科専門科目	選択	運動あそび指導法演習	2	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	選択	小児・思春期病態生理学	3～4	2	
学科専門科目	選択	いのちの教育	3～4	2	
学科専門科目	選択	子どもレクリエーション実習	3～4	1	
学科専門科目	選択	音楽リズム指導法演習	3～4	1	
学科専門科目	選択	子ども健康スポーツ論	3～4	2	
学科専門科目	選択	高齢者健康スポーツ論	2	2	
学科専門科目	選択	障害者スポーツ論	2	2	
学科専門科目	選択	高齢者・障害者と家族	3～4	2	
学科専門科目	選択	高齢者・障害者レクリエーション演習	3～4	1	
学科専門科目	選択	高齢者健康スポーツ指導法演習	3～4	1	
学科専門科目	選択	障害者スポーツ指導法演習	3～4	1	
学科専門科目	選択	健康スポーツ産業論	1～4	2	
学科専門科目	選択	医学一般	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツ応急処置演習	1～4	2	
学科専門科目	選択	免疫と薬理	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際健康スポーツ交流	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1～4	2	
学科専門科目	選択	エアロビクス実習B	1～4	1	
学科専門科目	選択	フィットネス概論	1～4	2	
学科専門科目	選択	ボランティア活動	1～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツとコミュニケーション	1～4	2	
学科専門科目	選択	リハビリテーション論	2～4	2	
学科専門科目	選択	測定評価	2～4	2	
学科専門科目	選択	エアロビクス指導法演習	2～4	1	
学科専門科目	選択	アクアビクス指導法演習	2～4	1	
学科専門科目	選択	健康管理学	2～4	2	
学科専門科目	選択	舞踏の文化論	2～4	2	
学科専門科目	選択	運動傷害と予防	2～4	2	
学科専門科目	選択	トレーニングプログラミング論	2～4	2	
学科専門科目	選択	スポーツマネージメント	2～4	2	
学科専門科目	選択	公衆衛生学Ⅱ	2～4	2	
学科専門科目	選択	トレーニング基礎論	2～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働衛生Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働基準法	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅰ	3～4	2	
学科専門科目	選択	労働安全衛生法Ⅱ	3～4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップ	3～4	2	
学科専門科目	選択	健康産業施設等現場実習	4	1	
学科専門科目	選択	卒業論文	4	4	
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(水泳)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(ダンス)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(柔道)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(剣道)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(サッカー)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(バレーボール)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(バスケットボール)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(テニス)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(バドミントン)	2	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(陸上)	3	1	卒業要件外
教職科目	選択	スポーツ実習・指導法(器械運動)	3	1	卒業要件外
教職科目	選択	運動学(運動方法学を含む)	1～3	2	卒業要件外
教職科目	選択	養護概説	1～3	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅰ	1～3	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅱ	1～3	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学Ⅲ	1～3	2	卒業要件外
教職科目	選択	看護学実習	3	2	卒業要件外

(2)-4 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 専門教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅰ	1	2	
学部共通科目	必修	ライフデザイン学Ⅱ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅠ	1	2	
学部共通科目	必修	情報リテラシーⅡ	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン学概論	1	2	
学科専門科目	必修	ユニバーサルデザイン概論	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	2	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン基礎演習Ⅲ	2	3	
学科専門科目	必修	人間環境デザイン総合演習	2	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠA	3	3	空間デザインコースのみ必修 他コースでは選択
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	空間デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠA	3	3	生活環境デザインコースのみ必修 他コースでは選択
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	生活環境デザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	プロダクトデザインコースのみ必修 他コースでは選択
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	
学科専門科目	必修	プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	
学科専門科目	選択必修	卒業研究	4	2	
学科専門科目	選択必修	卒業制作	4	2	
学科専門科目	選択	ユニバーサルデザイン各論A	1	2	
学科専門科目	選択	人間工学	1	2	
学科専門科目	選択	CAD演習Ⅰ	1	2	
学科専門科目	選択	建築歴史意匠A	1	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザイン基礎	1	2	
学科専門科目	選択	発達と障害	1	2	
学科専門科目	選択	生活支援デザイン概論	1	2	
学科専門科目	選択	材料・素材一般	1	2	
学科専門科目	選択	建築生産	1	2	
学科専門科目	選択	色彩論	1	2	
学科専門科目	選択	マーケティング	2	2	
学科専門科目	選択	CAD演習Ⅱ	2	2	
学科専門科目	選択	住民参加	2	2	
学科専門科目	選択	住居計画	2	2	
学科専門科目	選択	建築・都市法規	2	2	
学科専門科目	選択	建築歴史意匠B	2	2	
学科専門科目	選択	生活空間計画	2	2	
学科専門科目	選択	コンピュータ・グラフィックス	2	2	
学科専門科目	選択	産業とプロダクトデザイン	2	2	
学科専門科目	選択	生活支援機器デザイン概論	2	2	
学科専門科目	選択	構造力学	2	2	
学科専門科目	選択	都市・まちのデザイン	2	2	
学科専門科目	選択	道具の歴史	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学基礎	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン工学応用	2	2	
学科専門科目	選択	ユニバーサルデザイン各論B	2	2	
学科専門科目	選択	ヒューマンインターフェース	2	2	
学科専門科目	選択	インテリアデザイン	2	2	
学科専門科目	選択	環境計画	2	2	
学科専門科目	選択	デザイン思考法	2	2	
学科専門科目	選択	認知科学	3~4	2	
学科専門科目	選択	ランドスケープデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	デザイン特別講義	3~4	2	
学科専門科目	選択	安全工学	3~4	2	
学科専門科目	選択	調査分析のデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	ユニバーサルデザイン各論C	3~4	2	
学科専門科目	選択	情報メディアデザイン	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップA	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップB	3~4	2	
学科専門科目	選択	インターンシップC	3~4	2	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
学科専門科目	選択	建築空間構成論	3～4	2	
学科専門科目	選択	建築設計論	3～4	2	
学科専門科目	選択	設備計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	材料力学	3～4	2	
学科専門科目	選択	構法計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	木造住宅設計論	3～4	2	
学科専門科目	選択	構法計画演習A	3～4	1	
学科専門科目	選択	構法計画演習B	3～4	1	
学科専門科目	選択	都市計画論	3～4	2	
学科専門科目	選択	生活支援機器デザイン各論	3～4	2	
学科専門科目	選択	リハビリテーション工学	3～4	2	
学科専門科目	選択	医療福祉建築計画	3～4	2	
学科専門科目	選択	支援技術とデザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	福祉住環境コーディネータ論A	3～4	2	
学科専門科目	選択	福祉住環境コーディネータ論B	3～4	2	
学科専門科目	選択	情報デザインⅠ	3～4	2	
学科専門科目	選択	情報デザインⅡ	3～4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインⅠ	3～4	2	
学科専門科目	選択	プロダクトデザインⅡ	3～4	2	
学科専門科目	選択	グラフィックデザイン論	3～4	2	
学科専門科目	選択	メカトロニクス・デザイン	3～4	2	
学科専門科目	選択	表現演習	3～4	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情A	1～2	2	
学科専門科目	選択	国際文化事情B	1～2	2	
教職科目	選択	職業指導Ⅰ	3～4	2	卒業要件外
教職科目	選択	職業指導Ⅱ	3～4	2	卒業要件外

(3)-1 ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻、子ども支援学専攻 他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康スポーツ学概論	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	解剖学Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	解剖学Ⅱ	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	公衆衛生学Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	エアロビクス実習A	1	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康教育学	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康科学概論	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康スポーツ産業論	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	フィットネス概論	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	免疫と薬理	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	国際健康スポーツ交流	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	エアロビクス実習B	1～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	ボランティア活動	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツとコミュニケーション	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ応急処置演習	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動生理学Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動生理学Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	コーチング概論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	レクリエーション実習	2	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	機能解剖学Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	機能解剖学Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ医学	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	トレーニング実習	2	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ社会学	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ人類学	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ史Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ史Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	レクリエーション論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	小児保健(含学校保健)	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動あそび指導法演習	2	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	障害者スポーツ論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	発育・発達・加齢論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	東洋の健康文化	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	トレーニング基礎論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動傷害と予防	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	リハビリテーション論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	エアロビクス指導法演習	2～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツマネジメント	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	測定評価	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	アクアビクス指導法演習	2～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	舞踏の文化論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	公衆衛生学Ⅱ	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康管理学	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	トレーニングプログラミング論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	生涯スポーツ論	3	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	小児・思春期病態生理学	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	アジアのスポーツ文化	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	ヨーロッパのスポーツ文化	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	子ども健康スポーツ論	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ指導法演習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	応用解剖学	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツと栄養	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ心理学	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康政策と行政	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	地域スポーツクラブ論	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ政策論	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	身体文化論	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	いのちの教育	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	子どもレクリエーション実習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	音楽リズム指導法演習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	高齢者・障害者と家族	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	高齢者・障害者レクリエーション演習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	労働衛生Ⅰ	3～4	2	

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	労働衛生Ⅱ	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	労働安全衛生法Ⅰ	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	労働安全衛生法Ⅱ	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	労働基準法	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	トレーニングプログラミング演習	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	障害者スポーツ指導法演習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動処方(含運動負荷試験)	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	西洋の健康文化	3～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	バイオメカニクス演習	3～4	1	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	インターンシップ	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	1	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	情報デザインⅠ	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論A	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論B	3～4	2	

(3)-2 ライフデザイン学部健康スポーツ学科 他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉の基礎	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	専門職論	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉学原論Ⅱ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童福祉論Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健Ⅱ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術総論	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童福祉論Ⅱ	1～4	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会調査の基礎	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅲ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	介護福祉援助技術の基礎	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	医療福祉総論	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神医学Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神医学Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅰ	2	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉論Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉論Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	高齢者福祉論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	福祉サービス運営論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	権利擁護論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	低所得者福祉論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	更生保護論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	地域福祉論Ⅰ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	地域福祉論Ⅱ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉運営論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	就労支援論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障論Ⅰ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障論Ⅱ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	障害者福祉論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅳ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術演習Ⅲ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術現場実習	3	4	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術実習	3	4	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅱ	3	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅲ	3	1	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神科リハビリテーション学Ⅰ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神科リハビリテーション学Ⅱ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	医療ソーシャルワーク論	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	精神保健福祉論Ⅲ	3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術演習Ⅴ	4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	人間工学	1	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	道具の歴史	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	マーケティング	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	産業とプロダクトデザイン	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	建築歴史意匠B	2	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	情報メディアデザイン	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	安全工学	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	医療福祉建築計画	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	リハビリテーション工学	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	情報デザインⅠ	3～4	2	
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネータ論A	3～4	2	

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	人間環境デザイン学科	福祉住環境コーディネート論B	3～4	2	

(3)-3 ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 他学科開放科目

学部	学科	科目名	配当学年	単位数	履修方法
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉の基礎	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童福祉論Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	児童福祉論Ⅱ	1～4	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会調査の基礎	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	高齢者福祉論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	障害者福祉論	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障論Ⅰ	2～3	2	
ライフデザイン学部	生活支援学科	社会保障論Ⅱ	2～3	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	解剖学Ⅰ	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	解剖学Ⅱ	1	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	健康スポーツ産業論	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	医学一般	1～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動生理学Ⅰ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	運動生理学Ⅱ	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	スポーツ社会学	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	発育・発達・加齢論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	高齢者健康スポーツ論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	障害者スポーツ論	2	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	リハビリテーション論	2～4	2	
ライフデザイン学部	健康スポーツ学科	生涯スポーツ論	3	2	

(4)ライフデザイン学部 教職科目(卒業要件外)

生活支援学科生活支援学専攻

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教職に関する科目	教職概論	1	2	
教職に関する科目	教育基礎論	1	2	
教職に関する科目	教育制度論	1	2	
教職に関する科目	教育心理学	1	2	
教職に関する科目	教育課程総論	1	2	
教職に関する科目	福祉科指導法Ⅰ	3	2	
教職に関する科目	福祉科指導法Ⅱ	3	2	
教職に関する科目	特別活動の理論と方法	3	2	
教職に関する科目	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	
教職に関する科目	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	
教職に関する科目	教育相談	2	2	
教職に関する科目	教育実習基礎講義	3	2	
教職に関する科目	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
教職に関する科目	教職実践演習(中・高)	4	2	
教科又は教職に関する科目	教育評価	1~4	2	
教科又は教職に関する科目	道德教育論	3	2	

生活支援学科子ども支援学専攻

なし

健康スポーツ学科

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教職に関する科目	教職概論	1	2	
教職に関する科目	教育基礎論	1	2	
教職に関する科目	教育制度論	1	2	
教職に関する科目	教育心理学	1	2	
教職に関する科目	教育課程総論	1	2	
教職に関する科目	保健科教育論Ⅰ	2	2	
教職に関する科目	保健科教育論Ⅱ	2	2	
教職に関する科目	保健科指導法Ⅰ	3	2	
教職に関する科目	保健科指導法Ⅱ	3	2	
教職に関する科目	保健体育科教育論Ⅰ	2	2	
教職に関する科目	保健体育科教育論Ⅱ	2	2	
教職に関する科目	保健体育科指導法Ⅰ	3	2	
教職に関する科目	保健体育科指導法Ⅱ	3	2	
教職に関する科目	養護教育論	2	2	
教職に関する科目	道德教育論	3	2	
教職に関する科目	特別活動の理論と方法	3	2	
教職に関する科目	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	
教職に関する科目	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	
教職に関する科目	生徒指導論	2	2	
教職に関する科目	教育相談	2	2	
教職に関する科目	教育実習基礎講義	3	2	
教職に関する科目	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	
教職に関する科目	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
教職に関する科目	養護実習(事前・事後指導を含む)	4	5	
教職に関する科目	教職実践演習(中・高)	4	2	
教職に関する科目	教職実践演習(養護教諭)	4	2	
教科又は教職に関する科目	教育評価	1~4	2	

人間環境デザイン学科

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教職に関する科目	教職概論	1	2	
教職に関する科目	教育基礎論	1	2	
教職に関する科目	教育制度論	1	2	
教職に関する科目	教育心理学	1	2	
教職に関する科目	教育課程総論	1	2	
教職に関する科目	工芸科指導法Ⅰ	3	2	
教職に関する科目	工芸科指導法Ⅱ	3	2	
教職に関する科目	工業科指導法Ⅰ	3	2	
教職に関する科目	工業科指導法Ⅱ	3	2	
教職に関する科目	特別活動の理論と方法	3	2	
教職に関する科目	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	
教職に関する科目	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	
教職に関する科目	教育相談	2	2	
教職に関する科目	教育実習基礎講義	3	2	
教職に関する科目	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
教職に関する科目	教職実践演習(中・高)	4	2	
教科又は教職に関する科目	教育評価	1~4	2	
教科又は教職に関する科目	道徳教育論	3	2	

別表第4 卒業に必要な単位等

学科および専攻	単位数
生活支援学科生活支援学専攻	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育で、共通教養科目で12単位以上、文化間コミュニケーションで必修4単位を含み、16単位以上を修得すること。 3) 専門科目で、学部共通科目で必修科目8単位、学科専門科目で66単位以上(うち必修科目18単位、選択科目48単位以上)を含み、74単位以上を修得すること。
生活支援学科子ども支援学専攻	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育で、共通教養科目で12単位以上、文化間コミュニケーションで必修4単位を含み、16単位以上を修得すること。 3) 専門科目で、学部共通科目で必修科目8単位、学科専門科目で64単位以上(うち必修科目18単位、選択科目46単位以上)を含み、72単位以上を修得すること。
健康スポーツ学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育で、共通教養科目で12単位以上、文化間コミュニケーションで必修8単位、スポーツと健康で2単位以上を含み、22単位以上を修得すること。 3) 専門科目で、学部共通科目で必修科目8単位、学科専門科目で73単位以上(うち必修科目38単位、選択必修Aのうち、健康心理学、健康教育学、健康社会学の3科目から1科目2単位、解剖学実習、生理・生化学実習、運動生理学実習、公衆衛生学実習、フィールドワーク実習の5科目から2科目2単位、選択必修Bから1科目1単位、選択科目30単位以上)を含み、81単位以上を修得すること。
人間環境デザイン学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育で、共通教養科目で12単位以上、文化間コミュニケーションで必修6単位を含み、18単位以上を修得すること。 3) 専門科目で、学部共通科目で必修科目8単位、学科専門科目で69単位以上(うち必修科目14単位、コース別必修科目10単位、選択必修科目2単位、選択科目43単位以上)を含み、77単位以上を修得すること。

別表第5 4年次の卒業関係科目の履修条件

学科および専攻	単位数
人間環境デザイン学科	<p>(1)「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」を履修するためには、下記を満たさなければならない。</p> <p>①「ライフデザイン学Ⅰ」、「ライフデザイン学Ⅱ」、「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシーⅡ」、「人間環境デザイン学概論」、「ユニバーサルデザイン概論」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅰ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅱ」、「人間環境デザイン基礎演習Ⅲ」、「人間環境デザイン総合演習」の単位を全て修得していること。</p> <p>②卒業要件となる科目を100単位以上を修得していること。卒業要件となる科目は、別表第3に定める基盤教育科目、専門科目および他学科開放科目とする。</p> <p>(2)「空間デザイン演習ⅡB」を履修するためには、「空間デザイン演習ⅡA」の単位を修得していること。</p> <p>(3)「生活環境デザイン演習ⅡB」を履修するためには、「生活環境デザイン演習ⅡA」の単位を修得していること。</p> <p>(4)「プロダクトデザイン演習ⅡB」を履修するためには、「プロダクトデザイン演習ⅡA」の単位を修得していること。</p> <p>(5)卒業研究、卒業制作を履修するためには、以下のいずれかの単位を修得していること。「空間デザイン演習ⅡA」、「生活環境デザイン演習ⅡA」、「プロダクトデザイン演習ⅡA」</p>

別表第6 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡA	4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡB	4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢA	4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢB	4	1	選択必修
		健康教育学	1	2	選択必修
		生涯スポーツ論	3	2	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	2	1	選択必修
		英語ⅡB	2	1	選択必修
		英語ⅢA	4	1	選択必修
		英語ⅢB	4	1	選択必修
		TOEICⅠA	4	1	選択必修
		TOEICⅠB	4	1	選択必修
		TOEICⅡA	4	1	選択必修
		TOEICⅡB	4	1	選択必修
情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1	2	選択必修

(1) 高等学校教諭第1種免許状(福祉)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	福祉科指導法Ⅰ	3	2	必修
		福祉科指導法Ⅱ	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育実習	5単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	—

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1~4	2	
		教育評価	1~4	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	—

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
社会福祉学(職業指導を含む。)	6単位	社会福祉の基礎	1	2	必修
		社会福祉学原論Ⅰ	1	2	必修
		社会福祉学原論Ⅱ	1	2	必修
		社会福祉発達史	1	2	
		社会保障論Ⅰ	2～3	2	
		社会保障論Ⅱ	2～3	2	
		地域福祉論Ⅰ	2～3	2	
高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	6単位	高齢者福祉論	2～3	2	必修
		児童福祉論Ⅰ	1	2	必修
		児童福祉論Ⅱ	4	2	
		障害者福祉論	2～3	2	必修
社会福祉援助技術	4単位	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	必修
		社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	必修
		社会福祉援助技術論Ⅲ	2	2	
		社会福祉援助技術論Ⅳ	3	2	
		社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	
		社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	
		社会福祉援助技術演習Ⅲ	3	2	
		社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	2	
介護理論及び介護技術	2単位	介護福祉援助技術の基礎	2	2	必修
		社会福祉援助技術現場実習 ※	3	4	必修
社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)	4単位	介護福祉実習Ⅰ	1	2	
		介護福祉実習Ⅱ	2	3	
		介護福祉実習Ⅲ	3	3	
		介護福祉実習Ⅳ	4	2	
人体構造及び日常生活行動に関する理解	8単位	医学一般	1	2	必修
		こころとからだのしくみⅠ	4	2	必修
		こころとからだのしくみⅡ	4	2	必修
		こころとからだのしくみⅢ	4	2	必修
加齢及び障害に関する理解	8単位	発達と老化の理解	4	2	必修
		障害の理解	4	2	必修
		認知症の理解Ⅰ	4	2	必修
		認知症の理解Ⅱ	4	2	必修
小計	38単位	—	—	—	—

※「社会福祉援助技術現場実習」において、「老人福祉法に規定する施設、身体障害者福祉法に規定する施設、知的障害者福祉法に規定する施設」のいずれかで実習を行う必要がある。

合計	67単位	①、②、③の合計で67単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	選択必修
		健康教育学	1	2	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	生涯スポーツ論	3	2	選択必修
		英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	2	1	選択必修
		英語ⅡB	2	1	選択必修
		英語ⅢA	1～4	1	選択必修
		英語ⅢB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠA	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅡA	1～4	1	選択必修
情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1	2	選択必修

(1) 幼稚園教諭第1種免許状

① 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	7単位	幼児教育基礎論Ⅰ	1	2	必修
		幼児教育基礎論Ⅱ	1	2	必修
		教育心理学	2	1	必修
		発達心理学	2	2	必修
		教育法規	1～4	2	
教育課程及び指導法に関する科目	18単位	保育内容総論	3	1	必修
		幼児教育論Ⅰ	2	2	必修
		幼児教育論Ⅱ	2	2	必修
		保育内容演習(ことば)	2	1	必修
		保育内容演習(音楽表現)	3	1	必修
		保育内容演習(造形表現)	3	1	必修
		保育内容演習(身体表現)	3	1	必修
		保育内容演習(環境)	2	1	必修
		保育内容演習(健康)	3	1	必修
		保育内容演習(人間関係)	2	1	必修
		保育指導法	3	2	必修
		保育教育課程論	3	2	必修
		幼児教育方法(情報機器の活用を含む)	3	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	2単位	幼児理解と保育カウンセリング	3	2	必修
教育実習	5単位	教育実習Ⅲ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(幼稚園)	4	2	必修
小計	36単位	—	—	—	

② 教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	—	—	—	—
小計	—	—	—	—	—

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
国語	6単位	児童文学	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	
		文章読解	1～4	2	
		口頭表現法	1～4	2	
		保育表現技術(言語)	2	1	必修
算数		—	—	—	
生活		生活と家族	1～4	2	
		学校と地域(学校安全を含む)	1～4	2	
音楽		保育表現技術Ⅰ(音楽)	1	1	必修
		保育表現技術Ⅱ(音楽)	2	1	必修
		音楽一般	1～4	2	
		音楽あそびの実践	4	2	
図画工作		保育表現技術(造形)	1	1	必修
		造形あそびの実践	4	2	
		美術一般	1～4	2	
体育	保育表現技術Ⅰ(体育)	1	1	必修	
	保育表現技術Ⅱ(体育)	2	1	必修	
	体育あそびの実践	4	2		
合計	6単位	—	—	—	
合計	51単位	①、②、③の合計で51単位を修得すること。			

ライフデザイン学部健康スポーツ学科

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	選択必修
		健康教育学	1	2	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	生涯スポーツ論	3	2	選択必修
		英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	2	1	選択必修
		英語ⅡB	2	1	選択必修
		英語ⅢA	1～4	1	選択必修
		英語ⅢB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠA	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅡA	1～4	1	選択必修
情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1	2	選択必修

(1) 中学校教諭第1種免許状(保健)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
		教育課程総論	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	16単位	保健科教育論Ⅰ	2	2	必修
		保健科教育論Ⅱ	2	2	必修
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
		道徳教育論	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育実習	7単位	教育実習基礎講義	2	2	必修
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	37単位	—	—	—	—

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1～4	2	
—	—	教育評価	1～4	2	
小計	—	—	—	—	—

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
生理学及び栄養学	10単位	生理・生化学Ⅰ	1	2	必修
		生理・生化学Ⅱ	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	選択必修
		運動生理学Ⅰ	2	2	必修
		運動生理学Ⅱ	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	選択必修
		測定評価	2～4	2	選択必修
		スポーツと栄養	3～4	2	選択必修
		生活と栄養	1～3	2	必修
衛生学及び公衆衛生学	2単位	公衆衛生学Ⅰ	1	2	必修
		公衆衛生学Ⅱ	2～4	2	選択必修
		公衆衛生学実習	2	1	選択必修
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	小児保健(含学校保健)	2	2	必修
		小児・思春期病態生理学	3～4	2	選択必修
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	選択必修
		発育・発達・加齢論	2	2	選択必修
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
小計	20単位	—	—	—	—

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(2) 中学校教諭第1種免許状(保健体育)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	16単位	教育課程総論	1	2	必修
		保健体育科教育論Ⅰ	2	2	必修
		保健体育科教育論Ⅱ	2	2	必修
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
		道徳教育論	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育実習	7単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	37単位	—	—	—	

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1~4	2	
—	—	教育評価	1~4	2	
小計	—	—	—	—	

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法		
体育実技	7単位	スポーツ実習・指導法(水泳)	2	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(陸上)	3	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(器械運動)	3	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(サッカー)	2	1	2科目選択必修		
		スポーツ実習・指導法(バレーボール)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(テニス)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(バドミントン)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(バスケットボール)	2	1			
				スポーツ実習・指導法(剣道)	2	1	1科目選択必修
				スポーツ実習・指導法(柔道)	2	1	
				スポーツ実習・指導法(ダンス)	2	1	1科目選択必修
				エアロビクス指導法演習	2~3	1	
				エアロビクス実習B	1~3	1	
				アクアビクス指導法演習	2~4	1	
レクリエーション実習	2			1			
「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	4単位			スポーツ心理学	3	2	必修
生理学(運動生理学を含む。)	10単位	健康社会と福祉	3	2			
		運動学(運動方法学を含む)	1~3	2	必修		
		生理・生化学Ⅰ	1	2	必修		
		生理・生化学Ⅱ	1	2	必修		
		生理・生化学実習	2	1			
		運動生理学Ⅰ	2	2	必修		
		運動生理学Ⅱ	2	2	必修		
		運動生理学実習	2	1			
		測定評価	2~4	2			
		スポーツと栄養	3~4	2			
衛生学及び公衆衛生学	2単位	生活と栄養	1~3	2	必修		
		公衆衛生学Ⅰ	1	2	必修		
		公衆衛生学Ⅱ	2~4	2			
		公衆衛生学実習	2	1			

学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	小児保健(含学校保健)	2	2	必修
		小児・思春期病態生理学	3~4	2	
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	2	2	
		危機管理と救急法	1~3	2	必修
小計	29単位	—	—	—	—
合計	66単位	①、②、③の合計で66単位を修得すること。			

(3) 高等学校教諭第1種免許状(保健)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	教育課程総論	1	2	必修
		保健科教育論Ⅰ	2	2	
		保健科教育論Ⅱ	2	2	
		保健科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健科指導法Ⅱ	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実習	5単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目 選択必修
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1~4	2	
		教育評価	1~4	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	14単位	生理・生化学Ⅰ	1	2	必修
		生理・生化学Ⅱ	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	2	2	必修
		運動生理学Ⅱ	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		スポーツと栄養	3~4	2	
		測定評価	2~4	2	
		生活と栄養	1~3	2	必修
		解剖学Ⅰ	1	2	必修
		解剖学Ⅱ	1	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		機能解剖学Ⅰ	2	2	
機能解剖学Ⅱ	2	2			
衛生学及び公衆衛生学	2単位	公衆衛生学Ⅰ	1	2	必修
		公衆衛生学Ⅱ	2~4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	小児保健(含学校保健)	2	2	必修
		小児・思春期病態生理学	3~4	2	
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	2	2	
危機管理と救急法	1~3	2	必修		
小計	22単位	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

(4) 高等学校教諭第1種免許状(保健体育)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	教育課程総論	1	2	必修
		保健体育科教育論Ⅰ	2	2	
		保健体育科教育論Ⅱ	2	2	
		保健体育科指導法Ⅰ	3	2	必修
		保健体育科指導法Ⅱ	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実習	5単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目 選択必修
教職実践演習	2単位	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	選択必修
		教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1~4	2	
		教育評価	1~4	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法		
体育実技	7単位	スポーツ実習・指導法(水泳)	2	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(陸上)	3	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(器械運動)	3	1	必修		
		スポーツ実習・指導法(サッカー)	2	1	2科目選択必修		
		スポーツ実習・指導法(バレーボール)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(テニス)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(バドミントン)	2	1			
		スポーツ実習・指導法(バスケットボール)	2	1			
		—	—	スポーツ実習・指導法(剣道)	2	1	1科目選択必修
				スポーツ実習・指導法(柔道)	2	1	
				スポーツ実習・指導法(ダンス)	2	1	
		—	—	エアロビクス指導法演習	2~3	1	1科目選択必修
				エアロビクス実習B	1~3	1	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	4単位	レクリエーション実習	2	1	
スポーツ心理学	3			2	必修		
生理学(運動生理学を含む。)	14単位	健康社会と福祉	3	2			
		運動学(運動方法学を含む)	1~3	2	必修		
		生理・生化学Ⅰ	1	2	必修		
		生理・生化学Ⅱ	1	2	必修		
		生理・生化学実習	2	1			
		運動生理学Ⅰ	2	2	必修		
		運動生理学Ⅱ	2	2	必修		
		運動生理学実習	2	1			
		測定評価	2~4	2			
		スポーツと栄養	3~4	2			
		生活と栄養	1~3	2	必修		
		解剖学Ⅰ	1	2	必修		
		解剖学Ⅱ	1	2	必修		
		解剖学実習	2	1			
機能解剖学Ⅰ	2	2					
機能解剖学Ⅱ	2	2					

衛生学及び公衆衛生学	2単位	公衆衛生学Ⅰ	1	2	必修
		公衆衛生学Ⅱ	2～4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	6単位	小児保健(含学校保健)	2	2	必修
		小児・思春期病態生理学	3～4	2	
		精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
		発育・発達・加齢論	2	2	
		危機管理と救急法	1～3	2	必修
小計	33単位	—	—	—	
合計	62単位	①、②、③の合計で62単位を修得すること。			

(5) 養護教諭第1種免許状

① 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
教育課程に関する科目	8単位	養護教育論	2	2	必修
		道徳教育論	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
生徒指導及び教育相談に関する科目	4単位	生徒指導論	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
養護実習	7単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		養護実習(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(養護教諭)	4	2	必修
小計	29単位	—	—	—	

② 養護又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1~4	2	
—	—	教育評価	1~4	2	
小計	—	—	—	—	

③ 養護に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	4単位	公衆衛生学Ⅰ	1	2	必修
		公衆衛生学Ⅱ	2~4	2	
		公衆衛生学実習	2	1	
学校保健	2単位	医学一般	1~3	2	必修
		小児保健(含学校保健)	2	2	必修
		小児・思春期病態生理学	3~4	2	
養護概説	2単位	発育・発達・加齢論	2	2	
		養護概説	1~3	2	必修
健康相談活動の理論及び方法	2単位	健康科学概論	1	2	必修
		健康管理学	2~4	2	
栄養学(食品学を含む。)	2単位	スポーツと栄養	3~4	2	
		生活と栄養	1~3	2	必修
解剖学及び生理学	12単位	解剖学Ⅰ	1	2	必修
		解剖学Ⅱ	1	2	必修
		解剖学実習	2	1	
		生理・生化学Ⅰ	1	2	必修
		生理・生化学Ⅱ	1	2	必修
		生理・生化学実習	2	1	
		運動生理学Ⅰ	2	2	必修
		運動生理学Ⅱ	2	2	必修
		運動生理学実習	2	1	
		機能解剖学Ⅰ	2	2	
機能解剖学Ⅱ	2	2			
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2単位	免疫と薬理	1~3	2	必修
精神保健	2単位	精神保健Ⅰ	1	2	必修
		精神保健Ⅱ	1	2	
看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10単位	看護学Ⅰ	1~3	2	必修
		看護学Ⅱ	1~3	2	必修
		看護学Ⅲ	1~3	2	必修
		看護学実習	3	2	必修
		危機管理と救急法	1~3	2	必修
小計	38単位	—	—	—	

合計	67単位	①、②、③の合計で67単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

ライフデザイン学部人間環境デザイン学科

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	選択必修
		健康教育学	1	2	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	生涯スポーツ論	3	2	選択必修
		英語ⅠA	1	1	選択必修
		英語ⅠB	1	1	選択必修
		英語ⅡA	2	1	選択必修
		英語ⅡB	2	1	選択必修
		英語ⅢA	1～4	1	選択必修
		英語ⅢB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠA	1～4	1	選択必修
		TOEICⅠB	1～4	1	選択必修
		TOEICⅡA	1～4	1	選択必修
情報機器の操作	2単位	情報リテラシーⅠ	1	2	選択必修
		情報リテラシーⅡ	1	2	選択必修

(1) 高等学校教諭第1種免許状(工業)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	—	教職概論	1	2	免許法附則第11項により、教職に関する科目の単位数は、当分の間、その全部または一部を高等学校教諭第1種免許状(工業)の教科に関する科目の同数の単位数をもって替えることができる
教育の基礎理論に関する科目	—	教育基礎論	1	2	
		教育制度論	1	2	
		教育心理学	1	2	
教育課程及び指導法に関する科目	—	教育課程総論	1	2	
		工業科指導法Ⅰ	3	2	
		工業科指導法Ⅱ	3	2	
		特別活動の理論と方法	3	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	—	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	
		生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	
教育実習	—	教育相談	2	2	
		教育実習基礎講義	3	2	
教職実践演習	—	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
		教職実践演習(中・高)	4	2	
合計	—	—	—	—	

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1～4	2	
		教育評価	1～4	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則 に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
工業の関係科目	4単位	人間環境デザイン基礎演習Ⅰ	1	2	選択必修
		人間環境デザイン基礎演習Ⅲ	2	3	選択必修
		人間工学	1	2	必修
		都市・まちのデザイン	2	2	選択必修
		建築生産	1	2	選択必修
		材料・素材一般	1	2	選択必修
		住居計画	2	2	選択必修
		建築・都市法規	2	2	選択必修
		生活空間計画	2	2	選択必修
		コンピュータ・グラフィックス	2	2	選択必修
		環境計画	2	2	選択必修
		ヒューマンインターフェース	2	2	選択必修
		安全工学	3～4	2	必修
		空間デザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		空間デザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		空間デザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		空間デザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
		構造力学	2	2	選択必修
		建築空間構成論	3～4	2	選択必修
		構法計画	3～4	2	選択必修
		構法計画演習A	3～4	1	選択必修
		ランドスケープデザイン	3～4	2	選択必修
		設備計画	3～4	2	選択必修
		材料力学	3～4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
		生活環境デザイン演習ⅡB	4	2	選択必修
		リハビリテーション工学	3～4	2	選択必修
		生活支援機器デザイン概論	2	2	選択必修
生活支援機器デザイン各論	3～4	2	選択必修		
職業指導	4単位	職業指導Ⅰ	3～4	2	必修
		職業指導Ⅱ	3～4	2	必修
合計	20単位	—	—	—	—
合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			

(2) 高等学校教諭第1種免許状(工芸)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育基礎論	1	2	必修
		教育制度論	1	2	必修
		教育心理学	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	教育課程総論	1	2	必修
		工芸科指導法Ⅰ	3	2	必修
		工芸科指導法Ⅱ	3	2	必修
		特別活動の理論と方法	3	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	3	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実習	5単位	教育実習基礎講義	3	2	必修
		教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
合計	29単位	—	—	—	

②教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
—	—	人権と生活	1～4	2	
		教育評価	1～4	2	
		道徳教育論	3	2	
小計	—	—	—	—	

③教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
図法及び製図	2単位	人間環境デザイン基礎演習Ⅱ	1	2	選択必修
		CAD演習Ⅰ	1	2	選択必修
		CAD演習Ⅱ	2	2	選択必修
デザイン	2単位	人間環境デザイン総合演習	2	3	選択必修
		ユニバーサルデザイン各論A	1	2	選択必修
		建築歴史意匠A	1	2	選択必修
		建築歴史意匠B	2	2	選択必修
		建築設計論	3～4	2	選択必修
		情報デザインⅠ	3～4	2	選択必修
		情報デザインⅡ	3～4	2	選択必修
情報メディアデザイン	3～4	2	選択必修		
工芸制作(プロダクト制作を含む。)	2単位	プロダクトデザイン基礎	1	2	必修
		産業とプロダクトデザイン	2	2	選択必修
		プロダクトデザインⅠ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザインⅡ	3～4	2	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠA	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅠB	3	3	選択必修
		プロダクトデザイン演習ⅡA	4	2	選択必修
プロダクトデザイン演習ⅡB	4	2	選択必修		
工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	2単位	人間環境デザイン学概論	1	2	選択必修
		ユニバーサルデザイン概論	1	2	選択必修
		美術一般	1～3	2	必修
		道具の歴史	2	2	選択必修
合計	20単位	—	—	—	

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。			
----	------	-----------------------	--	--	--

別表第7 社会福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科、健康スポーツ学科

社会福祉に関する科目 (指定科目等名)	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	1	2	1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学	1～4	2	
社会理論と社会システム	社会学	1～4	2	
現代社会と福祉	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉学原論Ⅱ	1	2	必修
社会調査の基礎	社会調査の基礎	2	2	必修
相談援助の基礎と専門職	社会福祉の基礎	1	2	必修
	専門職論	1	2	必修
相談援助の理論と方法	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	2	必修
	社会福祉援助技術論Ⅲ	2	2	必修
	社会福祉援助技術論Ⅳ	3	2	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉論Ⅱ	2～3	2	必修
福祉行財政と福祉計画	社会福祉運営論	2～3	2	必修
福祉サービスの組織と経営	福祉サービス運営論	2～3	2	必修
社会保障	社会保障論Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障論Ⅱ	2～3	2	必修
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論	2～3	2	必修
	介護福祉援助技術の基礎	2	2	必修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2～3	2	必修
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論Ⅰ	1	2	必修
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者福祉論	2～3	2	必修
保健医療サービス	医療福祉総論	2	2	必修
就労支援サービス	就労支援論	2～3	2	1科目選択必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護論	2～3	2	
更生保護制度	更生保護論	2～3	2	
相談援助演習	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	必修
	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	必修
	社会福祉援助技術演習Ⅲ	3	2	必修
	社会福祉援助技術演習Ⅳ	3	2	必修
	社会福祉援助技術演習Ⅴ	4	2	必修
相談援助実習指導	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	1	必修
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	3	1	必修
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	3	1	必修
相談援助実習	社会福祉援助技術現場実習	3	4	必修

別表第8 精神保健福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科、健康スポーツ学科

精神障害者の保健及び福祉に関する科目(指定科目等名)	本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
人体の構造と機能及び疾病	医学一般	1	2	1科目選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学	1～4	2	
社会理論と社会システム	社会学	1～4	2	
現代社会と福祉	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	必修
	社会福祉学原論Ⅱ	1	2	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2～3	2	必修
	地域福祉論Ⅱ	2～3	2	必修
社会保障	社会保障論Ⅰ	2～3	2	必修
	社会保障論Ⅱ	2～3	2	必修
低所得者に対する支援と生活保護制度	低所得者福祉論	2～3	2	必修
福祉行財政と福祉計画	社会福祉運営論	2～3	2	必修
保健医療サービス	医療福祉総論	2	2	必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護論	2～3	2	必修
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2～3	2	必修
	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ	2	2
精神保健の課題と支援	精神医学Ⅱ	2	2	必修
	精神保健Ⅰ	1	2	必修
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	精神保健Ⅱ	1	2	必修
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	社会福祉援助技術論Ⅰ	1	2
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健福祉援助技術総論	1	2	必修
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	2	2	必修
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2	2	必修
	精神科リハビリテーション学Ⅰ	3	2	必修
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神科リハビリテーション学Ⅱ	3	2	必修
	精神保健福祉論Ⅰ	2	2	必修
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅱ	2	2	必修
	精神保健福祉論Ⅲ	3	2	必修
精神保健福祉援助演習(基礎)	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	必修
	精神保健福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	必修
精神保健福祉援助演習(専門)	精神保健福祉援助技術演習Ⅱ	2	2	必修
	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅰ	2	1	必修
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅱ	3	1	必修
	精神保健福祉援助技術実習指導Ⅲ	3	1	必修
	精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助技術実習	3	4
—	専門職論	1	2	必修

別表第9 介護福祉士受験資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科生活支援学専攻介護福祉士コース

社会福祉士介護福祉士学校指定規則に定める教育の内容		本学開講科目名	配当学年	単位数	履修方法
領域	教育内容				
人間と社会	人間の尊厳と自立	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	必修
	人間関係とコミュニケーション	生活支援学演習ⅠB	1	2	必修
	社会の理解	社会福祉の基礎	1	2	必修
		社会福祉学原論Ⅱ	1	2	必修
	人間と社会に関する選択科目	社会学	1～4	2	必修
		心理学	1～4	2	必修
社会保障論Ⅰ		2～3	2	必修	
社会保障論Ⅱ		2～3	2	必修	
介護	介護の基本	介護福祉援助概論Ⅰ	1	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅱ	1	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅲ	2	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅳ	3	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅴ	3	2	必修
		介護福祉援助概論Ⅵ	4	2	必修
	コミュニケーション技術	介護コミュニケーション技術Ⅰ	2	2	必修
		介護コミュニケーション技術Ⅱ	2	2	必修
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	1	1	必修
		生活支援技術Ⅱ	1	1	必修
		生活支援技術Ⅲ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅳ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅴ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅵ	2	1	必修
		生活支援技術Ⅶ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅷ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅸ	3	1	必修
		生活支援技術Ⅹ	3	1	必修
	介護過程	実習の基礎	1	2	必修
		介護過程Ⅰ	1	1	必修
		介護過程Ⅱ	2	1	必修
		介護過程Ⅲ	3	1	必修
		介護過程Ⅳ	4	1	必修
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1	1	必修
		介護総合演習Ⅱ	2	1	必修
		介護総合演習Ⅲ	2	1	必修
		介護総合演習Ⅳ	3	1	必修
	介護実習	介護福祉実習Ⅰ	1	2	必修
		介護福祉実習Ⅱ	2	3	必修
		介護福祉実習Ⅲ	3	3	必修
		介護福祉実習Ⅳ	4	2	必修
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	高齢者福祉論	2～3	2
発達と老化の理解			1～4	2	必修
認知症の理解		認知症の理解Ⅰ	1～4	2	必修
		認知症の理解Ⅱ	1～4	2	必修
障害の理解		障害者福祉論	2～3	2	必修
		障害の理解	1～4	2	必修
こころとからだのしくみ		こころとからだのしくみⅠ	1～4	2	必修
	こころとからだのしくみⅡ	1～4	2	必修	
	こころとからだのしくみⅢ	1～4	2	必修	
医療的ケア	医療的ケア	医学一般	1	2	必修
		医療的ケアⅠ	3	2	必修
		医療的ケアⅡ	3	2	必修
		医療的ケアⅢ	4	2	必修

別表第10 保育士資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻

①必修科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法	
系列	教科目					
保育の本質・目的に 関する目的に関する 科目	保育原理	保育原理Ⅰ	1	2	必修	
	教育原理	幼児教育基礎論Ⅰ	1	2	必修	
	児童家庭福祉	児童福祉論Ⅰ	1	2	必修	
	社会福祉	社会福祉学原論Ⅰ	1	2	必修	
	相談援助	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	2	必修	
	社会的養護	社会的養護	1～2	2	必修	
	保育者論	教職概論	1	2	必修	
保育の対象の理解 に関する科目	保育の心理学Ⅰ	発達心理学	2	2	必修	
	保育の心理学Ⅱ	教育心理学	2	1	必修	
	子どもの保健Ⅰ	子どもの保健Ⅰ	2	2	必修	
		子どもの保健Ⅱ	2	2	必修	
	子どもの保健Ⅱ	子どもの保健Ⅲ	2	1	必修	
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養(実習含む)	2	2	必修	
	家庭支援論	家庭支援論	1～2	2	必修	
保育の内容・方法に 関する科目	保育課程論	保育教育課程論	3	2	必修	
	保育内容総論	保育内容総論	3	1	必修	
	保育内容演習	保育内容演習(ことば)	保育内容演習(ことば)	2	1	必修
		保育内容演習(環境)	保育内容演習(環境)	2	1	必修
		保育内容演習(健康)	保育内容演習(健康)	3	1	必修
		保育内容演習(人間関係)	保育内容演習(人間関係)	2	1	必修
		保育内容演習(音楽表現)	保育内容演習(音楽表現)	3	1	必修
		保育内容演習(造形表現)	保育内容演習(造形表現)	3	1	必修
		保育内容演習(身体表現)	保育内容演習(身体表現)	3	1	必修
	乳児保育	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	2	1	必修
		乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	2	1	必修
	障害児保育	障害児保育Ⅰ	障害児保育Ⅰ	3	1	必修
		障害児保育Ⅱ	障害児保育Ⅱ	3	1	必修
	社会的養護内容	社会的養護内容	2	1	必修	
保育相談支援	保育相談支援	4	1	必修		
保育の表現技術	保育の表現技術	保育表現技術(造形)	1	1	必修	
		保育表現技術(言語)	2	1	必修	
		保育表現技術Ⅰ(音楽)	1	1	必修	
		保育表現技術Ⅱ(音楽)	2	1	必修	
		保育表現技術Ⅰ(体育)	1	1	必修	
		保育表現技術Ⅱ(体育)	2	1	必修	
		保育表現技術Ⅱ(音楽)	2	1	必修	
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習ⅠA(施設)	2	2	必修	
		保育実習ⅠB(保育所)	3	2	必修	
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導ⅠA(施設)	2	1	必修	
		保育実習指導ⅠB(保育所)	3	1	必修	
総合演習	保育実践演習	保育実践演習	4	2	必修	

②選択必修科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
保育の本質・目的に関する科目		幼児教育基礎論Ⅱ	1	2	選択必修
		児童福祉論Ⅱ	1～4	2	選択必修
		保育原理Ⅱ	4	2	選択必修
		子どもの権利論	1～4	2	選択必修
保育の対象の理解に関する科目		—	—	—	
保育の内容・方法に関する科目		保育指導法	3	2	選択必修
		乳児の生活とあそび	4	2	選択必修
		幼児理解と保育カウンセリング	3	2	選択必修
		子育て支援実践	1～4	2	選択必修
保育の表現技術		音楽あそびの実践	4	2	選択必修
		体育あそびの実践	4	2	選択必修
		造形あそびの実践	4	2	選択必修
保育実習	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅱ(保育所)	4	2	Ⅱ、Ⅲいずれか を選択必修
	保育実習指導Ⅱ	保育実習指導Ⅱ(保育所)	4	1	
	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅲ(施設)	4	2	
	保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅲ(施設)	4	1	

※上記②表から、「保育実習」3単位を含み、9単位を修得すること。

※上記②表の「保育実習」は、「保育実習Ⅱおよび保育実習指導Ⅱ」または「保育実習Ⅲおよび保育実習指導Ⅲ」のいずれか選択必修

③一般教養的科目

児童福祉法施行規則の 指定保育士養成施設の修業教科目		本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
系列	教科目				
教養科目	外国語、体育以外の 科目	児童文学	1～4	2	6単位選択必修
		文章読解	1～4	2	
		国語表現法	1～4	2	
		口頭表現法	1～4	2	
		レポート・論文のまとめ方	1～4	2	
		音楽一般	1～4	2	
		美術一般	1～4	2	
		哲学	1～4	2	
		世代論	1～4	2	
		心理学	1～4	2	
		日本国憲法	1～4	2	
		社会学	1～4	2	
		学校と地域(学校安全を含む)	1～4	2	
	外国語	英語ⅠA	1	1	2単位選択必修
		英語ⅠB	1	1	
		英語ⅡA	2	1	
		英語ⅡB	2	1	
	体育に関する実技	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	1単位選択必修
		スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
		スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
	体育に関する講義	危機管理と救急法	1～4	2	2単位選択必修
		健康教育学	1	2	
		生涯スポーツ論	3	2	

別表第11 社会福祉主事資格取得のための授業科目及び単位数

ライフデザイン学部

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目名	単位数	履修方法
社会福祉概論	社会福祉学原論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会福祉学原論Ⅱ	2	
社会福祉援助技術論	社会福祉援助技術論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	
社会保障論	社会保障論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	社会保障論Ⅱ	2	
児童福祉論	児童福祉論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	児童福祉論Ⅱ	2	
家庭福祉論	家庭支援論	2	
保育理論	保育原理Ⅰ	2	
	保育原理Ⅱ	2	
身体障害者福祉論	障害者福祉論	2	
精神障害者保健福祉論	精神保健福祉論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	精神保健福祉論Ⅱ	2	
老人福祉論	高齢者福祉論	2	
地域福祉論	地域福祉論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	地域福祉論Ⅱ	2	
法学	法学	2	
経済学	経済学	2	
心理学	心理学	2	
社会学	社会学	2	
教育学	教育基礎論	2	
	教育制度論	2	
公衆衛生学	公衆衛生学Ⅰ	2	
	公衆衛生学Ⅱ	2	
医学一般	医学一般	2	
リハビリテーション論	リハビリテーション論	2	
看護学	看護学Ⅰ	2	
	看護学Ⅱ	2	
	看護学Ⅲ	2	
介護概論	介護福祉援助概論Ⅰ	2	2科目とも修得すること
	介護福祉援助概論Ⅱ	2	
栄養学	生活と栄養	2	

上記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから3科目以上修得し、卒業すること。
 (指定科目において、本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで当該指定科目を修得したものとみなす。ただし、]がついている科目はすべてを履修、修得することで1科目としてみなす。)